

2017年11月15日

自社開発の水上太陽光フロートシステムを用いた太陽光発電所が完成

— 当社初の水上太陽光発電事業で2,600kWの売電を開始 —

三井住友建設株式会社（東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 新井英雄）は、香川県木田郡三木町で建設を進めてきた「平木尾池水上太陽光発電所」が完成し、11月9日に竣工式を執り行い、売電事業を開始しました。

本発電所は、農業用ため池にて自社開発の水上太陽光フロートシステム「PuKaTTo（プカット）」を利用した発電所で、固定価格買取制度（FIT）を活用して発電出力2,600kWの全量を売電します。自社工場（佐賀県神埼郡吉野ヶ里町）の有休地を活用した陸上太陽光発電所に続く自社事業となります。



【執り行われた竣工式の様子】



【平木尾池水上太陽光発電所】

■施設概要

施設名称 : 平木尾池水上太陽光発電所
所在地 : 香川県木田郡三木町平木字南山田 1035 平木尾池（農業用ため池）
事業者 : 三井住友建設株式会社
施工会社 : SMC テック株式会社
発電出力 : 2,600kW（パネル出力）
事業期間 : 2017年11月～2037年10月（20年間）

■これまでの経緯

当社の水上太陽光発電の取り組みは、2014年に香川県農政水産部農村整備課より委託されたフロートを用いたため池での太陽光発電の実証実験から始まりました。その後、2015年には水上太陽光発電用フロートを自社開発して販売し、自社開発の水上太陽光発電用フロートシステム（「PuKaTTo（プカット）」）は、今回完成した平木尾池水上太陽光発電所を含めてこれまでに国内4件、海外2件の採用実績があります。

■今後の展開

当社は、再生可能エネルギー事業の推進を建設事業以外の収益源として、収益構造の重層化を図っています。当発電所の建設・運営を通じて、自社開発した水上太陽光発電用フロートシステム（「PuKaTTo（プカット）」）の施工例として、今後の営業活動に活かしてまいります。また、当社が経営理念として掲げる「地球環境への貢献」の一環として、同システムの普及を通じて地球温暖化対策（CO2 排出削減）に貢献してまいります。

■お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

三井住友建設株式会社

〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号

広報室 平田 豊彦

TEL:03-4582-3015 FAX:03-4582-3204

E-mail:information@smcon.co.jp

以 上